

「東京科学大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：鎖骨下筋の停止部の構造に関する解剖研究

東京科学大学医学系倫理委員会承認番号：第 M2021-079 番

データ収集期間：研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

研究目的：

鎖骨下筋は第 1 肋骨に起始し、鎖骨に停止する小筋であります。この筋は、胸鎖関節の安定化に貢献するとされてきましたが、この解剖学的構造については十分に明らかにされているとは言えません。それは、とくに鎖骨への停止部において、烏口鎖骨靭帯との連続関係が非常に複雑であり、変異も多いためです。近年、上肢機能回復のためのリハビリテーション等において、これらの構造が注目されています。我々は、鎖骨下筋の鎖骨への停止部と烏口鎖骨靭帯の連続性、ならびにこの靭帯を介した肩甲骨への運動の伝達が、上肢の機能的理解のためには重要だと考えまし。そこで、本研究では鎖骨下筋の停止部のついた鎖骨遠位部と烏口鎖骨靭帯を、解剖学的組織学的に解析を行うことにいたしました。

本研究では、鎖骨下筋の停止腱が烏口鎖骨靭帯に直接連続し、さらに、烏口鎖骨靭帯の線維束の走行との関係を明らかにすることを目的とします。これにより、胸鎖関節の動きがどのように肩甲骨の運動に影響するかを理解し、解剖学的な裏づけに基づいた臨床的アプローチの提唱ができると考えています。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京科学大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖実習体を用いて、鎖骨下筋の停止部を含む鎖骨遠位部を切

り出し、パラフィン包埋したブロックを作製し、さらに厚さ 5 μ m の組織学的標本を作製し、顕微鏡にて観察を行ないます。特に鎖骨下筋停止部と烏口鎖骨靭帯の連続部ならびにそれらの線維の鎖骨ならびに肩甲骨の烏口突起に対する線維の付着について詳細な検討を行う予定です。染色方法としては HE 染色に加え EVG 染色、Masson Trichrome 染色を行い、観察所見を詳細に記録することとします。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、連結可能匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学系倫理審査委員会で承認された後、改めて HP 上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京科学大学大学院 臨床解剖学分野 秋田恵一

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）